

施策項目	具体的施策	計画書掲載ページ	担当課	取り組み内容 (9期計画記載内容)	令和6年度				進捗評価	令和7～8年度の展開について	
					※太枠囲みは成果指標 「実績」	8期計画 R5年度 実績値	9期計画 R6年度 「実績値」	9期計画 「目標値」		今後の展開方向	今後の方向性

【基本目標】 I 生涯現役で過ごすことができるまちづくり

(施策の方向) 1. 高齢者の生きがいを推進します

I-1-(1)	生涯学習、文化活動、スポーツ、レクリエーション活動の促進	1	さんだ生涯学習カレッジ	83	高齢者支援課	生涯学習を通じ、仲間づくりや健康づくり、地域貢献につなげることをめざし、さんだ生涯学習カレッジを運営している。	<p>【取り組み内容と進捗状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度も定員を上回る応募があった。 ・クラブ活動の実績回数を6回から10回に戻し、選択可能数を2から3クラブに拡大したことで、延べクラブ受講者数は310人から350人に増加した。 ・講座評価、講師評価を実施しカリキュラムの見直しに取り組んだ。 	B	引き続き受講生の増加（定員360人）とカリキュラムの充実に取り組む。	継続
I-1-(1)	生涯学習、文化活動、スポーツ、レクリエーション活動の促進	2	作品展等の支援	83	高齢者支援課	老人クラブ連合会主催の作品展を支援するなど、知識や技術・趣味等を活かした作品を一般に公開し、発表の場を提供している。	<p>【取り組み内容と進捗状況】</p> <p>老人クラブ連合会が主体となり、創作作品展を開催した。老人クラブ会員の知識や技術・趣味等を活かした絵画や写真、工芸品、手芸等、様々な作品を展示し、高齢者の生きがいをいづくりにつなげた。</p>	B	今後も老人クラブ連合会が主催する作品展等の開催を支援する。	継続
I-1-(1)	生涯学習、文化活動、スポーツ、レクリエーション活動の促進	3	地域型スポーツの振興	83	文化スポーツ課	スポーツクラブ21の活動を通じて、高齢者のスポーツ活動と地域交流の場を確保している。	<p>【取り組み内容と進捗状況】</p> <p>R7.3.5・3.7の2日間実施。ノルディック・ウォーキングを中心にニュースポーツ（トリコロキューブ・モルック）を含め実施。1日は（R7.3.5）は、雨天であったため、室内にてノルディック・ウォーキングの歩き方講習を行った。</p>	C	受講者意見を取り入れ、競技内容の充実、実施時期・場所なども鑑み、幅広く周知を行うなかで受講者を増やし、体を動かすきっかけづくりや交流などの機会づくりとして、継続して取り組む。	継続
I-1-(1)	生涯学習、文化活動、スポーツ、レクリエーション活動の促進	4	スポーツを通じた健康・体力づくり	83	文化スポーツ課	スポーツ推進基本計画を策定し、競技スポーツや生涯スポーツの推進を図っている。	<p>【取り組み内容と進捗状況】</p> <p>スポーツ推進基本計画をもとに各種教室の実施などスポーツを通じた健康、体力づくりの機会提供を行った。</p>	B	いつまでもスポーツが楽しめるよう、スポーツ講座等の開催など、無理なく参加できる機会を提供し、継続して競技スポーツの普及を図ります。	継続
I-1-(1)	生涯学習、文化活動、スポーツ、レクリエーション活動の促進	5	高齢者の活躍支援	83	高齢者支援課	「いきがい応援プラザ～HOT～」で、相談者へのアドバイス、「いきがい応援セミナー」の実施や活躍したい高齢者と高齢者人材の力を必要とする市民をつなぐ「いきがい応援バンク」の運営等を行っている。	<p>【取り組み内容と進捗状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年5月にまちづくり協働センターから本庁に窓口を移し、来庁し相談される方が減少したが、セミナーを年間10回開催し372人の申し込みを得た。 ・いきがい応援バンクのマッチング件数も7件あった。 	B	PR活動に注力し利用者の増加に取り組む。	継続

施策項目	具体的施策	計画書掲載ページ	担当課	取り組み内容 (9期計画記載内容)	令和6年度				令和7～8年度の展開について				
					【取り組み内容と進捗状況】 ●令和6年度の取り組みを中心に進捗状況を記入してください。また、可能な限り具体的な実績（実施回数や人数、割合等）について、下記「実績」・「目標値」・「実績値」欄に追加・修正して記入してください。 ●また、取組状況に基づき、右記の進捗評価についてA～Dから選択してください。				進捗評価	今後の展開方向 令和6年度の取り組みと評価から、今後重点的に取り組む必要がある内容等を中心に記入してください。	今後の方向性		
					※太枠囲みは成果指標 「実績」	8期計画 R5年度 実績値	9期計画 R6年度 「実績値」	9期計画 「目標値」					
I-1-(1)	生涯学習、文化活動、スポーツ、レクリエーション活動の促進	6	活動に関する情報提供の充実	84	高齢者支援課 「いきがい応援プラザ～HOT～」の専用ホームページを運営し、シニアの活動に関する一元的な情報収集・発信を行っている。シニアのためのいきがい応援マガジンとして「ほっとHOT通信」を偶数月に発行し、生涯現役で活躍するシニアの紹介やシニア向けお役立ち情報の発信を行っている。ハニーFMの広報番組「教えて！スター☆シニア」で、活躍するシニアやシニア向け健康情報などを発信している。	【取り組み内容と進捗状況】 ●ほっとHOT通信は偶数月（年6回）に発行、部数を800部に拡大した。 ●HPの更新頻度アップに努め、訪問者数の増加につながった。 ●ハニーFMはウェブ化に伴い番組が中止となった。	専用HP訪問者数	5,695人	6,461人	6,245人	A	引き続きほっとHOT通信の偶数月発行を継続し、HPを活用した情報発信に努める。	継続
I-1-(1)	生涯学習、文化活動、スポーツ、レクリエーション活動の促進	7	生涯を見通した学習活動等への支援	84	高齢者支援課 生涯学習カレッジを卒業した人達が地域で活動等をする際のサポートを進めることにより高齢者の生きがいづくりを支援している。また、三田市生涯学習サポートクラブが高齢者向けの生涯学習講座を企画及び実施している。	【取り組み内容と進捗状況】 ●オープンセミナーを毎月、年間12回実施 ※R6年度実績値はR7.3月時点の会員数	生涯学習サポートクラブ登録会員数	298人	293人	-	B	引き続き事業を実施する。	継続
I-1-(2)	地域活動の促進	1	老人クラブ活動の促進	85	高齢者支援課 高齢者の社会参加・生きがいづくりの中心的地域活動組織である老人クラブ活動事業への助成及び支援を行っている。	【取り組み内容と進捗状況】 ●いきがい応援プラザ～HOT～へ相談に来られる方に対して、ボランティア活動、趣味のサークルなどに関する問い合わせ先を紹介している。 ●ほっとHOT通信（年6回発行）で、活動している方を紹介した。	①会員数 ②クラブ数	①2,299人 ②42クラブ	①2,023人 ②39クラブ	-	B	各地区の老人クラブが地域の身近なシニア活動の場として存続できるよう、引き続き助成や支援を行う。	継続
I-1-(2)	地域活動の促進		高齢者の市民活動等への参加促進	85	子ども育成課 多世代交流を推進するとともに地域ぐるみでの子どもを育てる体制を整えている。	【取り組み内容と進捗状況】 さんだ放課後子ども教室事業として、地域の実行委員会が15小学校区で年間1,401日間開催し、25,067人が参加した。地域ぐるみの社会教育の要素に加え、地域の大人たちとの交流を通して子どもたちの豊かな人間性を育むため、各教室が創意工夫をしながら教室運営を行い、開催日数増につながっている。	小学校区	16小学校区	15小学校区	16小学校区	B	地域に依存した事業であり、教室の存続に不安がある中、年間開催日数増は評価でき、引き続き教室開催について支援していく。学校との連携を図り、地域負担減と利用者ニーズに応えるための仕組み作りをめざし、子どもたちや保護者を取り巻く環境の変化に沿った教室運営のあり方を検討する。	継続
I-1-(2)	地域活動の促進	2	高齢者の市民活動等への参加促進	85	高齢者支援課 市民活動等の情報を提供するとともに、市民活動等への参加のきっかけづくりの取り組みを行っている。	【取り組み内容と進捗状況】 ●いきがい応援プラザ～HOT～へ相談に来られる方に対して、ボランティア活動、趣味のサークルなどに関する問い合わせ先を紹介している。 ●ほっとHOT通信（年6回発行）で、活動している方を紹介した。	-	-	-	-	B	引き続き相談者に対して適切な対応を実施する。	継続

施策項目	具体的施策	計画書掲載ページ	担当課	取り組み内容 (9期計画記載内容)	令和6年度				令和7～8年度の展開について					
					【取り組み内容と進捗状況】 ●令和6年度の取り組みを中心に進捗状況を記入してください。また、可能な限り具体的な実績（実施回数や人数、割合等）について、下記「実績」・「目標値」・「実績値」欄に追加・修正して記入してください。 ●また、取組状況に基づき、右記の進捗評価についてA～Dから選択してください。				進捗評価	今後の展開方向 令和6年度の取り組みと評価から、今後重点的に取り組む必要がある内容等を中心に記入してください。	今後の方向性			
					※太枠囲みは成果指標 「実績」	8期計画 R5年度 実績値	9期計画 R6年度 「実績値」	9期計画 「目標値」						
I-1-(2)	地域活動の促進		高齢者の市民活動等への参加促進	85	地域福祉課	ふれあい活動推進協議会活動、ボランティア活動への高齢者の参加が促進されている。	【取り組み内容と進捗状況】 友愛訪問や生活支援活動、高齢者や子育て世代等を対象としたサロン活動など、地域における見守りや居場所づくりに取り組むとともに、高齢者自身が活動者となれるように人材育成を推進している。しかし、地域におけるつながりの希薄化や定年延長による地域活動者の減少等により、各地区におけるボランティア活動の担い手が不足しており、一部活動者に負担が集中していることが課題となっている。					B	地域活動の担い手不足が課題となっている現状において、住民主体で取り組む支え合いの地域づくりを推進するためにも、住民一人ひとりが地域における役割を見つけられるような活動が必要である。そのため、高齢者が支援の受け手となるだけでなく、活動者として誰かを支える立場となれるように、地域活動への参加を促進していく。	継続
I-1-(2)	地域活動の促進	3	学校支援ボランティア事業の推進	85	子ども育成課	高齢者を含む地域の市民が子どもの教育のためボランティアを行い、学校の活動を支援している。	【取り組み内容と進捗状況】 学校支援ボランティアとして登録している、470人のボランティアが自ら培った技能等を活かし、学校での学習支援・環境整備のボランティアを実施した。年間活動実施日数5,175日、年間ボランティア数29,803人。（延べ人数）					A	校区によりボランティア人材が不足しているところがあるので、地域と学校が連携・協働し適材適所で活用できるよう工夫していく。 ボランティア研修会等により新規登録者の増加や登録者のモチベーションアップにつなげる。	継続
I-1-(2)	地域活動の促進	4	多世代交流の推進	85	子ども政策課 多世代交流館	多世代交流館の「シニア・ユースひろば」等において、若い世代、シニア世代などが気軽に集い、ふれあえる交流拠点の運営、イベントを展開している。	【取り組み内容と進捗状況】 高齢者に社会参加のための居場所を提供するとともに、ボランティアとの協働により、シニア世代を含む全世代がともに参加できるプログラムを充実させてきたが、目標値までは至っていない。今後も徐々に参加者を増やすためプログラムの充実を図っていききたい。					A	高齢者に社会参加のための居場所を提供するとともに、ボランティアとの協働により、シニア世代を含む全世代がともに参加できるプログラムを充実させることで、徐々に参加者を増やしていく。	継続
I-1-(3)	就業の促進	1	シルバー人材センターへの加入・就業の促進	86	高齢者支援課	公益社団法人シルバー人材センターにおいて、概ね60歳以上の健康で働く意欲のある人を対象として、高齢者の就業機会の拡大と活力ある地域づくりのため、臨時的・短期的な仕事を提供している。	【取り組み内容と進捗状況】 シルバー人材センターとしては、会員の適正な就業を確保するため就業形態の見直しや是正に尽力した。また会員増強のためゴールド会員制度や会員優待協力店舗の開拓を行い、新規加入促進のため出張説明会や紹介者へ特典をつけるなどの取り組みを行った。市としても職員向け説明会や会員募集チラシ配布等の広報活動に協力した。					B	会員の増加に向けて、センターと連携し引き続き広報活動を行っていく。また、フリーランス新法への対応など随時センターと情報共有を行い、国の動きに瞬時に対応できる体制を整える。	継続
I-1-(3)	就業の促進	2	高齢者への就業支援	86	高齢者支援課	「いきがい応援プラザ～HOT～」において、意識改革や求職中に役立つセミナーを実施するなど就業を希望するシニアに対して、情報提供等をしている。	【取り組み内容と進捗状況】 ・いきがい応援プラザへの就労相談件数11件 ・シニアの就職セミナー（講師ハローワーク）参加人数15人					B	引き続き相談者に対して適切な対応を実施する。	継続

施策項目	具体的施策	計画書掲載ページ	担当課	取り組み内容 (9期計画記載内容)	令和6年度				令和7～8年度の展開について			
					【取り組み内容と進捗状況】 ●令和6年度の取り組みを中心に進捗状況を記入してください。また、可能な限り具体的な実績（実施回数や人数、割合等）について、下記「実績」・「目標値」・「実績値」欄に追加・修正して記入してください。 ●また、取組状況に基づき、右記の進捗評価についてA～Dから選択してください。				進捗評価	今後の展開方向 令和6年度の取り組みと評価から、今後重点的に取り組む必要がある内容等を中心に記入してください。	今後の方向性	
					※太枠囲みは成果指標 「実績」	8期計画 R5年度 実績値	9期計画 R6年度 「実績値」	9期計画 「目標値」				
(施策の方向) 2. 壮・中年期の健康づくりを推進します												
I-2-(1)	健康づくり意識の向上	1	健康相談・健康教育等の実施	87	健康増進課 健康相談、健康教育、啓発イベント等の健康づくり事業により、健康意識の向上と、正しい知識の普及啓発を図っている。	【取り組み内容と進捗状況】 イベントや各種健診・健康相談・健康教育が実施できた。 いい歯の日フェア：452人(実人数) こころの健康づくり講演会(オンライン+サテライト)：72人				B	各種健康教育・健康相談をはじめ、イベント等を通じた啓発やPDCAサイクルに基づく取組を推進していく。	継続
					70歳代で健康づくりに取り組んでいる人の割合	81.2%	75.0%	80.3%				
I-2-(1)	健康づくり意識の向上	2	食育推進事業の推進	87	健康増進課 食育講座や健康料理教室等により、規則正しい生活やバランスのよい食事を推進している。	【取り組み内容と進捗状況】 第2次三田市食育推進計画に基づき、食育講座や健康料理教室、イベント、研修会を実施した。食育推進の方向性については、三田市食育推進会議や食育推進庁内幹事会等において協議を行い、庁内外で横断的に連携しながら取り組みを進めた。				B	第2次三田市食育推進計画に基づき、食育講座や健康料理教室をはじめ、イベントや研修会等あらゆる機会を通じて規則正しい生活やバランスのよい食事の推進を図る。特に、令和7年度は第2次三田市食育推進計画の重点対象である「若い世代」へのアプローチに取り組む予定。	継続
					①バランス食育教室 ②食育研修会	①2回49人 ②73人	①2回29人 ②126人	—				
I-2-(1)	健康づくり意識の向上	3	健康づくりに関係する団体との連携強化	87	健康増進課 健康推進員活動等を通じて、運動を含めた地域住民の健康づくり活動を支援している。	【取り組み内容と進捗状況】 健康推進員による健康運動教室、健康料理教室等をはじめとした各種健康づくり活動を展開した。健康増進課職員が地区担当として、各地区の活動を支援した。				B	地域での担い手不足、役割の重複等、様々な課題があり、制度について見直す必要がある。健康推進員を取り巻く様々な課題をふまえ、制度のあり方を検討していく。	継続
					健康推進員活動 実施延人数（全年齢対象）	9,715人	【速報値】 10,041人	—				
I-2-(2)	生活習慣病の予防	1	健康診査（特定健診）の充実	88	健康増進課・国保医療課 糖尿病等の生活習慣病を早期発見するため、特定健康診査を実施している。また、令和元年度より受診者の利便性向上をめざし、集団健診における時間帯予約制を導入した。	【取り組み内容と進捗状況】 糖尿病等の生活習慣病を早期発見するため、特定健診を実施している。令和3年10月より集団健診WEB予約システムを導入し、受診しやすい環境整備を行っている。令和6年度は、受診勧奨はがきを9月中旬に送付するとともに、集団健診の予約枠を追加し、受診環境を確保しながら事業を行った。				B	引き続き、WEB予約システムの安定稼働による受診しやすい環境整備と、データを用いた効果的な受診勧奨などにより、受診を促進し、市民の主体的な健康管理の実践を推進する。	継続
					特定健診受診率	32.2% ※法定報告値	【速報値】 33.1%	40.0%				
I-2-(2)	生活習慣病の予防	2	特定保健指導の充実	88	健康増進課・国保医療課 特定健診の結果、対象者を選定し、生活習慣改善のための特定保健指導を実施している。	【取り組み内容と進捗状況】 特定健康診査の結果より生活習慣を改善する必要がある者に対し、特定保健指導を実施することによって、生活習慣病の予防につなげている。平成30年度より、集団健診会場にて、健診受診当日の計測値等の状況から、特定保健指導の対象と見込まれる受診者に対して面接を行い、行動計画を暫定的に作成し、特定保健指導を実施している。令和6年度は令和5年度に引き続き、特定保健指導未利用者を対象としたイベント型特定保健指導（健康機器測定会）も実施し、利用率向上を目指した。				B	引き続き対象者が特定保健指導を利用しやすい環境づくりや利用動向の強化、特定保健指導実施機関との連携を図る。また国の動向もふまえた効果的な保健指導やICT等の新たな手法を用いた保健指導の検討を進める。令和7年度は自宅から特定保健指導が利用できる新たな方法を試行的に実施予定。	継続
					①動機付支援利用者 ②積極的支援利用者	①82人 ②11人 ※法定報告値	①90人 ②12人 ※【見込み】初回面接終了者数	—				

施策項目	具体的施策	計画書掲載ページ	担当課	取り組み内容 (9期計画記載内容)	令和6年度				令和7~8年度の展開について			
					【取り組み内容と進捗状況】 ●令和6年度の取り組みを中心に進捗状況を記入してください。また、可能な限り具体的な実績(実施回数や人数、割合等)について、下記「実績」・「目標値」・「実績値」欄に追加・修正して記入してください。 ●また、取組状況に基づき、右記の進捗評価についてA~Dから選択してください。				進捗評価	今後の展開方向 令和6年度の取り組みと評価から、今後重点的に取り組む必要がある内容等を中心に記入してください。	今後の方向性	
					※太枠囲みは成果指標 「実績」	8期計画 R5年度 実績値	9期計画 R6年度 「実績値」	9期計画 「目標値」				
I-2-(2)	生活習慣病の予防	3	糖尿病等重症化予防事業の実施	88	健康増進課 糖尿病が重症化するリスクの高い医療機関の未受診者・受診中断者、高血圧・脂質異常症で治療が必要な未受診者等に対して、受診勧奨及び保健指導を行っている。	【取り組み内容と進捗状況】 ①糖尿病が重症化するリスクの高い医療機関の未受診者と治療中断者に対する受診勧奨通知の送付および訪問・電話等による受診勧奨、保健指導を行った。②高血圧、脂質異常症、糖尿病のハイリスク者に対して受診勧奨し、併せて教室型の保健指導を業務委託により実施した。	①【未治療者】14人・50.0%【治療中断者】20人・66.7%※共に医療機関受診割合はR7.4時点速報値 ②【受診勧奨】238人・28.9%【保健指導】546人・34人	B	①引き続き医師会と連携して事業を実施していく。②令和6年度から新たに追加した糖尿病対策も含め、継続して実施する。適切な受診行動を促し、併せて生活習慣を改善することで重症化を防ぐことを目指す。	継続		
I-2-(2)	生活習慣病の予防	4	がん検診等の充実	88	健康増進課 胃がん・肺がん・大腸がん・乳がん・子宮頸がん・前立腺がんの検診及び肝炎ウイルス検診を行うほか、検診受診環境整備に取り組んでいる。	【取り組み内容と進捗状況】 胃がん・肺がん・大腸がん・乳がん・子宮頸がん・前立腺がんの検診及び肝炎ウイルス検診を実施した。また、集団健診についてはWEB予約システムを導入したり市民センター等の出張健診会場を設定することで受診しやすい環境整備を行っている。	①肺がん ①3,548人 ②胃がん ②1,666人 ③大腸がん ③3,629人 ④子宮頸がん ④4,203人 ⑤乳がん(マメ) ⑤2,547人 ⑥前立腺 ⑥1,293人 ⑦肝炎ウイルス ⑦308人 ⑧骨粗しょう症 ⑧1,392人	【速報値】 ①3,823人 ②1,722人 ③3,828人 ④4,136人 ⑤2,376人 ⑥1,969人 ⑦925人 ⑧1,448人	B	集団健診における後期高齢者の占める割合は年々増加しており、R6は約35%。高齢化に伴い身近な市内公共施設での受診は高まっているが、施設の開庁時間との調整に困難が生じており、受診環境整備に苦慮している。がん検診の個別医療機関側の設備環境的課題や負担の増加、がん検診で必須の二重読影を行うスキームが確立していない。受診環境の整備には一定の投資が必要であり、今後の課題である。	継続	
I-2-(2)	生活習慣病の予防	5	歯科口腔健診の充実	88	健康増進課 5歳刻みの節目年齢を対象に健診を行っている。また、歯科医師会等とも連携し、8020運動(80歳で20本以上の歯を保つ)等に取り組んでいる。	【取り組み内容と進捗状況】 令和3年度より受診案内はがきを対象者の誕生日から年度当初発送に切替え、年度途中で再勧奨を実施するなど実施方法の変更を試み、一時的に受診率が増加したものの、令和4年度以降は受診率が減少しており、依然として受診率は低い。一方で、令和4年12月に実施した健康に関する市民アンケート調査によると、過去1年間に65.6%の市民が歯科健診を受診しており、本事業の利用率は低いものの、定期的に歯科健診を受診している市民は多いと考えられる。	歯科口腔健診の受診率 5.3%	5.2%	B	令和7年度より歯科口腔健診を80歳から100歳までに拡充。引き続き歯科口腔健診の受診率向上の取組を実施するとともに、歯と口の健康の重要性について、三田市歯科医師会と連携して周知啓発に取り組む。	拡充	
I-2-(2)	生活習慣病の予防	6	生活習慣病予防について学び・実践する機会の充実	88	健康増進課 生活改善の必要性に気づき、実行、継続できるよう、集団健康養育を実施している。	【取り組み内容と進捗状況】 各種集団健康教育を実施し、健康に関する正しい知識の啓発や、生活習慣改善の実行、継続ができるよう支援している。集団を対象とし、改善したい思いを持った参加者が集うことで、グループダイナミクスの効果を得られ、参加者の満足度も高まったと考えられる。	集団健康教育(回数/人数) 49回/1,981人	36回/666人	B	市民ニーズや健康課題に応じた集団健康教育を検討・実施し、生活習慣改善が必要な市民に対して支援を行う。	継続	
I-2-(2)	生活習慣病の予防	7	健康相談の充実	88	健康増進課 市民が健康について気軽に相談できるよう「健康づくり相談会」を実施している。	【取り組み内容と進捗状況】 従来の、保健師、管理栄養士・栄養士の相談に加え、令和6年度は試行的に歯科相談を実施した。参加者の相談ブースは固定し、スタッフが移動する方法に見直しを行うことで参加者の移動負担の軽減と運営の効率化を図った。また健康相談事業の位置づけやフォロー基準について専門職で協議し、運用方針を見直した。	健康づくり相談会 10回/41人	10回/66人	12回/80人	B	引き続き、市民が健康について気軽に相談できるよう「健康づくり相談会」を実施する。R6年度は参加者が増加したことに加え、1年を通じて希望者が相談できる体制を整えるため、R7年度は健康づくり相談会を毎月開催することとし、開催回数を2回増加して12回/年の開催とする。	継続

A:十分に成果があった(目標を達成した) / B:どちらかといえば成果があった / C:成果はあまりなかった、または取組みが不十分だった / D:成果が全くなかった、または取組みがなかった

施策項目	具体的施策	計画書掲載ページ	担当課	取り組み内容 (9期計画記載内容)	令和6年度				令和7～8年度の展開について				
					【取り組み内容と進捗状況】 ●令和6年度の取り組みを中心に進捗状況を記入してください。また、可能な限り具体的な実績（実施回数や人数、割合等）について、下記「実績」・「目標値」・「実績値」欄に追加・修正して記入してください。 ●また、取組状況に基づき、右記の進捗評価についてA～Dから選択してください。				進捗評価	今後の展開方向 令和6年度の取り組みと評価から、今後重点的に取り組む必要がある内容等を中心に記入してください。	今後の方向性		
					※太枠囲みは成果指標 「実績」	8期計画 R5年度 実績値	9期計画 R6年度 「実績値」	9期計画 「目標値」					
I-2-(3)	医療の充実	1	かかりつけ医を持つことの普及啓発	89	健康増進課 「保健センターだより」や啓発チラシの全戸配布により、普及啓発に取り組んでいる。	【取り組み内容と進捗状況】 個別健診実施医療機関等一覧を掲載した令和6年度健康だよりを全戸47,400部、公共施設等1,400部に一斉配布。また、転入者に配布する市内医療機関のチラシや子育てハンドブック等を通じてかかりつけ医を持つことを啓発している。					B	「健康だより」や市ホームページなどによる周知のほか、転入者向けに市内医療機関の一覧を配布するなどの普及啓発に継続して取り組んでいく。	継続
					かかりつけ医を持つ人の割合	69.5%	63.2%	67.0%					
I-2-(3)	医療の充実	2	地域医療体制の整備	89	地域医療推進課 阪神北地域医療構想調整会議（阪神北圏域健康福祉推進協議会）での協議を通じ、医療連携体制の構築に取り組んでいる。	【取り組み内容と進捗状況】 阪神北地域医療構想調整会議に参加し、圏域における医療体制について協議した。また、三田市民病院と済生会兵庫県病院の再編統合による新病院基本計画について、協議及び報告を行った。					B	阪神北地域医療構想調整会議（阪神北圏域健康福祉推進協議会）を通じて、三田・北神地域の急性期医療をはじめとする地域医療提供体制について検討・協議する。	継続
						-	-	-					
I-2-(3)	医療の充実	3	救急医療体制の整備	89	健康増進課 三田市休日応急診療センターの安定的な運営や休日歯科診療の体制維持、さんだ健康医療相談ダイヤル、神戸市第二次救急病院協議会医療情報システム等の活用により体制整備に取り組んでいる。	【取り組み内容と進捗状況】 休日応急診療センターの安定的な実施及び24時間の健康医療相談ダイヤルにより、救急医療体制の整備を行っている。					B	地域医療全体の枠組みの中で、二次医療機関、かかりつけ医等を含め十分な課題共有を行い、神戸市等近隣市町との連携調整の上で、今後の救急医療体制について検討することが必要。	継続
					健康医療相談ダイヤル全相談件数（うち60歳以上の件数と割合）	5,867件（内、60歳以上1,325件 22.6%）	10,727件（内、60歳以上2,442件 22.8%）	-					

施策項目	具体的施策	計画書掲載ページ	担当課	取り組み内容 (9期計画記載内容)	令和6年度				令和7～8年度の展開について		
					【取り組み内容と進捗状況】 ●令和6年度の取り組みを中心に進捗状況を記入してください。また、可能な限り具体的な実績（実施回数や人数、割合等）について、下記「実績」・「目標値」・「実績値」欄に追加・修正して記入してください。 ●また、取組状況に基づき、右記の進捗評価についてA～Dから選択してください。				進捗評価	今後の展開方向 令和6年度の取り組みと評価から、今後重点的に取り組む必要がある内容等を中心に記入してください。	今後の方向性
					※太枠囲みは成果指標 「実績」	8期計画 R5年度 実績値	9期計画 R6年度 「実績値」	9期計画 「目標値」			
(施策の方向) 3. 介護予防を充実します △重点△											
I-3-(1)	介護予防の普及・啓発・情報発信	1	介護予防普及啓発事業の実施	90	高齢者支援課 小地域のつどいや老人クラブにおいて介護予防に関する講習会・運動教室に取り組んでいる。	【取り組み内容と進捗状況】 小地域のつどいや老人クラブにおいて、介護予防に関する講習会・運動教室に取り組んでおり、包括支援センターの働きかけにより介護予防について積極的な参加につながった。	A	地域の身近な通いの場に栄養士や歯科衛生士、運動指導員やリハビリ専門職等多様な専門職を派遣し、介護予防や健康づくりに関する講習会や運動教室を実施する機会を拡充して、介護予防に関する知識や実践方法の普及啓発を促進する。	継続		
					老人クラブ健康教室 小地域つどい・サロン参加人数	3,791人	6,677人	4,000人			
I-3-(1)	介護予防の普及・啓発・情報発信	2	栄養士訪問指導事業の実施	90	高齢者支援課 栄養改善等が必要な高齢者に対して栄養士による訪問指導を実施している。	【取り組み内容と進捗状況】 栄養改善等が必要な高齢者に対して栄養士等による訪問指導を実施しているが、個別の訪問指導のニーズは少ない。	B	栄養改善の個別訪問ニーズは少ないため、通いの場への専門職の派遣により普及啓発を充実していく	継続		
					栄養改善訪問指導回数	1回	2回	-			
I-3-(1)	介護予防の普及・啓発・情報発信	3	地域リハビリテーション活動支援事業の実施	90	高齢者支援課 いきいき百歳体操や介護予防に関する講習会にリハビリ専門職を派遣し、参加者に対し、体操や日常生活動作への助言を行っている。	【取り組み内容と進捗状況】 「いきいき百歳体操」を自主的に取り組む地域の団体等に対して、リハビリ専門職が指導助言を行うことにより、より効果的な実施につなげている。	B	リハビリ専門職派遣により、いきいき百歳体操主催団体等に対して普及啓発を行っている。	継続		
					講師派遣回数	15回	5回	-			
I-3-(1)	介護予防の普及・啓発・情報発信	4	高齢者つどいの広場事業の実施	90	高齢者支援課 「いろんな人と話をしたい、人と楽しく過ごしたい、仲間をつくりたい」という人が、気軽に参加し、楽しみながら交流できる新しい自主活動の機会・場の提供を行っている。	【取り組み内容と進捗状況】 「高齢者つどいの広場」事業として、カラオケ、介護予防体操、囲碁将棋の実施し、高齢者の介護予防となるようつどいの場を提供している。	B	「高齢者つどいの広場」事業として、参加者が一人ひとりの力の発揮、お互いに力を合わせることを取り入れ、協力しながら実施するレクリエーション、交流の場となるよう実施する。	継続		
					①開催回数 ②延べ利用人数	① 36回 ②362人	① 48回 ②613人	-			
I-3-(2)	地域介護予防活動の支援	1	介護予防に資するボランティアの育成	91	高齢者支援課 介護予防活動を支える人材を育成するため、いきいき百歳体操サポーター（活動グループの立ち上げや活動を支援）を養成している。	【取り組み内容と進捗状況】 介護予防を支える人材を育成するため、「いきいき百歳体操」サポーターの養成講座の開催（体験会含む）に取り組むとともに、「いきいき百歳体操」の活動を啓発するチラシを作製して情報提供を行った。	B	いきいき百歳体操サポーター養成講座を開催し、各地域で介護予防活動を支える人材を育成することで、地域に偏りのない「通いの場」づくりを進める。	継続		
					介護予防サポーター養成者数 (体験会参加者含)	425人	373人	-			

施策項目	具体的施策	計画書掲載ページ	担当課	取り組み内容 (9期計画記載内容)	令和6年度				令和7~8年度の展開について				
					【取り組み内容と進捗状況】 ●令和6年度の取り組みを中心に進捗状況を記入してください。また、可能な限り具体的な実績(実施回数や人数、割合等)について、下記「実績」・「目標値」・「実績値」欄に追加・修正して記入してください。 ●また、取組状況に基づき、右記の進捗評価についてA~Dから選択してください。				進捗評価	今後の展開方向 令和6年度の取り組みと評価から、今後重点的に取り組む必要がある内容等を中心に記入してください。	今後の方向性		
					※太枠囲みは成果指標 「実績」	8期計画 R5年度 実績値	9期計画 R6年度 「実績値」	9期計画 「目標値」					
I-3-(2)	地域介護予防活動の支援	2	いきいき百歳体操の普及促進	91	高齢者支援課 地域包括支援センターと連携し、いきいき百歳体操の実施グループを支援している。	【取り組み内容と進捗状況】 地域包括支援センターが中心となり、いきいき百歳体操の地域の中で担い手となる人材の発掘・育成や活動しているグループへの訪問を行い、継続的に実施できるように支援している。					B	地域包括支援センターにおいて、いきいき百歳体操の普及啓発を強化し、地域住民が主体となる介護予防活動の立ち上げにつなげるとともに、活動の継続支援に努める。	継続
					月1回以上の通いの場に参加する人の割合	6.5%	-	10.0%					
I-3-(3)	高齢期の健康づくりの推進	1	後期高齢者基本健診の実施	92	健康増進課 生活習慣病の早期発見・重症化予防のため、後期高齢者基本健診を実施している。「後期高齢者の質問票」を活用し、高齢者の特性を踏まえた健康状態を総合的に把握し受診勧奨や保健指導等につなげている。	【取り組み内容と進捗状況】 高齢者の特性を踏まえた健康状態を総合的に把握し、受診勧奨や保健指導等につなげるため、「後期高齢者の質問票」を活用して後期高齢者基本健診を実施している。集団健診では質問票に基づき、フレイル相談をR6年は35回、1685人に実施した。フレイルの普及啓発とフレイルを意識した生活を促した。					B	引き続き、後期高齢者に健診でのフレイル相談を実施し、特に75歳を迎える住民には重点的にフレイルについて個別相談を実施する。その他フレイル予防として、低栄養予防を意識した生活を促すため、フードモデルなどを使用し、たんぱく質の摂取や食生活を振り返ってもらえるように働きかけを実施し、フレイルに対する関心を高め、高齢者の質問票を活用し健康状態を総合的に把握していく。	継続
					「後期高齢者の質問票」により健康状態を把握した高齢者の割合	19.0%	【速報値】 22.1%	27.6%					
I-3-(3)	高齢期の健康づくりの推進	2	歯科保健対策の推進	92	健康増進課 歯科口腔健診(75歳・80歳)を実施すると共に、歯や口の働きの衰えであるオーラルフレイルの予防に向けた取り組みを進めている。高齢者の口腔や低栄養に対する意識を高めるため、口腔機能低下予防について啓発を行う機会を増やしている。	【取り組み内容と進捗状況】 ・後期高齢者の内、口腔機能低下疑いの者の割合 6.9%【速報値】 (後期基本健診受診者3146人のうち質問票④かつ⑤該当者212人) ・お口の筋力アップ教室参加者 7回実施、延41名参加					B	令和7年度より歯科口腔健診の対象年齢の上限をを、80歳から100歳までに拡充。また、引き続き口腔機能の維持・低下予防を目的とした「お口の筋力アップ教室」の開催に加え、新たに「みんなのフレイル予防教室」として、各圏域で歯科医師の講話を実施する。	継続
					①後期高齢者の内、口腔機能低下疑いの者の割合 ②お口の筋力アップ教室参加者	①7.1% ②35名	【速報値】 ①6.7% ②41名	①7.2% ②-					
I-3-(3)	高齢期の健康づくりの推進	3	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の推進	92	健康増進課 健診・医療・介護等のデータを活用して、高齢者の保健事業と介護予防を一体的に推進する体制を整備している。ハイリスクアプローチとして低栄養状態、口腔機能低下の状態にある高齢者への保健指導や、健康状態が不明な高齢者等の健康状態の把握、またポピュレーションアプローチとしてフレイルに着目した健康相談等を関係機関と連携して実施している。	【取り組み内容と進捗状況】 令和4年10月から「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業」を広域連合から受託。保健師、管理栄養士、歯科衛生士を配置し、生活習慣病等の重症化を予防するためのハイリスクアプローチとして低栄養状態にあるもの6人・糖尿病10人・高血圧28人・腎臓6人、口腔69人の保健指導を実施するとともに、健康状態不明者76人の健康状態を把握した。広く健康寿命延伸を目指したポピュレーションアプローチは集団健診実施時に栄養面に着目したフレイル相談を35回、1685人に実施。また、通いの場などに対して地域包括支援センターと協働し、フレイル予防教室を実施。うち栄養・口腔・薬剤に関する講座は、57回52団体延べ827人へ実施。					B	引き続き、「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業」広域連合から受託し、三田市の高齢者の健康課題に応じたハイリスクアプローチ、ポピュレーションアプローチを実施する。	継続
					①ハイリスクアプローチ ②フレイル相談 ③フレイル予防教室	①143人 ②35回1441人 ③22回249人 (③はR5は別事業で実施)	①195人 ②35回1685人 ③57回827人	-					

施策項目	具体的施策	計画書掲載ページ	担当課	取り組み内容 (9期計画記載内容)	令和6年度				進捗評価	令和7～8年度の展開について	
					【取り組み内容と進捗状況】 ●令和6年度の取り組みを中心に進捗状況を記入してください。また、可能な限り具体的な実績（実施回数や人数、割合等）について、下記「実績」・「目標値」・「実績値」欄に追加・修正して記入してください。 ●また、取組状況に基づき、右記の進捗評価についてA～Dから選択してください。					今後の展開方向 令和6年度の取り組みと評価から、今後重点的に取り組む必要がある内容等を中心に記入してください。	今後の方向性
					※太枠囲みは成果指標 「実績」	8期計画 R5年度 実績値	9期計画 R6年度 「実績値」	9期計画 「目標値」			

【基本目標】 II 住み慣れた地域で安心して生活できるまちづくり

(施策の方向) 1. 地域包括ケアを充実します △重点△

II-1-(1)	地域全体で支える体制の整備	1	見守りネットワークの構築	94	高齢者支援課	地域包括支援センターを中核として関係者や関係機関等との連携体制づくりを進めると共に、地域住民等による多様な地域福祉活動との協議に努めている。	【取り組み内容と進捗状況】 地域包括支援センターを拠点に関係者や関係機関等との連携体制づくりを進めるとともに、地域住民等による多様な地域福祉活動との協議に努めた。	-	-	-	-	B	地域の見守り体制構築に繋がるよう地域の関係者や関係機関、協力事業者等との情報共有・連携に努める。	継続
II-1-(1)	地域全体で支える体制の整備	2	地域ケア会議の実施	94	高齢者支援課	各圏域の地域包括支援センターにおいて、高齢者が抱える個別課題の解決、ネットワークの構築、地域課題発見、地域づくり・資源開発、政策形成のための地域ケア会議を行っている。高齢者のQOL向上をめざす個別ケア会議に加え、困難・特別事例を取り扱う個別ケア会議、高齢者の自立支援に資するケアマネジメントを支援する自立支援型地域ケア会議を実施している。	【取り組み内容と進捗状況】 各圏域の地域包括支援センターにおいて、高齢者が抱える個別課題の解決、ネットワークの構築、地域課題発見、地域づくり・資源開発、政策形成のための地域ケア会議を行っている。また、介護支援専門員の法の理念に基づいた高齢者の自立支援に資するケアマネジメントを支援する自立支援型地域ケア会議も実施した。	地域ケア会議等開催数 (カンファレンス含)	130回	140回	200回	B	自立支援型地域ケア会議を継続的に実施し、高齢者を取り巻く地域課題について把握・対応するとともに、生活支援コーディネーター兼地域福祉支援員や既存の住民団体等と連携し、地域における高齢者の生活支援体制の構築を進める。	継続
II-1-(1)	地域全体で支える体制の整備	3	地域福祉支援員兼生活支援コーディネーターの配置	94	高齢者支援課	地域福祉支援員兼生活支援コーディネーターが、地域での支援の取り組み（資源）を把握すると共に、新たな生活支援体制の構築につながるよう取り組んでいる。	【取り組み内容と進捗状況】 地域福祉支援員兼生活支援コーディネーターが、地域での支援の取り組み（資源）を把握するとともに、新たな生活支援体制の構築につながるよう取り組んでいる。	-	-	-	-	B	地域福祉支援員兼生活支援コーディネーターが、地域での支援の取り組み（資源）を把握するとともに、新たな生活支援体制の構築につながるよう取り組む。	継続
II-1-(2)	地域包括ケア推進拠点の機能強化	1	地域包括支援センターの運営	95	高齢者支援課	地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行うことにより、その保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援している。年度毎に市の運営方針に基づいた事業計画により事業を実施し、結果について評価・点検を行っている。	【取り組み内容と進捗状況】 地域の身近な相談窓口として、総合相談業務、権利擁護業務、包括的継続的マネジメント業務等、市の運営方針に戻った事業計画により事業を実施し、その結果について評価・点検を行っており、高齢者総合窓口として、幅広い高齢者を支援を行っていく。	地域包括支援センター認知度	-	-	70.0%	B	地域包括支援センターにおいては地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行うことにより、その保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援するとともに、結果について評価・点検を行うことで適正な運営に努める。	継続

施策項目	具体的施策	計画書掲載ページ	担当課	取り組み内容 (9期計画記載内容)	令和6年度				令和7～8年度の展開について		
					【取り組み内容と進捗状況】 ●令和6年度の取り組みを中心に進捗状況を記入してください。また、可能な限り具体的な実績（実施回数や人数、割合等）について、下記「実績」・「目標値」・「実績値」欄に追加・修正して記入してください。 ●また、取組状況に基づき、右記の進捗評価についてA～Dから選択してください。				進捗評価	今後の展開方向 令和6年度の取り組みと評価から、今後重点的に取り組む必要がある内容等を中心に記入してください。	今後の方向性
					※太枠囲みは成果指標 「実績」	8期計画 R5年度 実績値	9期計画 R6年度 「実績値」	9期計画 「目標値」			
II-1-(2)	地域包括ケア推進拠点の機能強化	2	介護予防支援事業・介護予防マネジメントの実施	95	高齢者支援課 利用者の希望や状態に応じて作成した介護予防ケアプラン(利用者の自立に向けた目標志向型プラン)に基づき、各種介護予防サービスを調整している。当該業務は一部居宅介護支援事業所に業務委託している。	【取り組み内容と進捗状況】 利用者の希望や状態に応じて作成したケアプランに基づき、各種介護予防サービスを調整している。	B	利用者の希望や状態に応じて作成したケアプランに基づき、各種介護予防サービスを調整する。	継続		
					給付管理件数	12,824件	13,537件	-			
II-1-(2)	地域包括ケア推進拠点の機能強化	3	総合相談業務の実施	95	高齢者支援課 地域の関係者とのネットワークを構築し、高齢者の心身の状況や生活の実態、必要な支援等を幅広く把握、相談を受け、地域における適切な保健・医療・福祉サービス、機関または制度の利用につなげる等の支援を行っている。高齢障害者への支援では必要に応じ、相談支援専門員と連携を図る。	【取り組み内容と進捗状況】 地域包括支援センターは地域包括ケア実現に向けた中核的な機関として、相談窓口業務のほか、介護予防事業利用、要支援認定者のサービス利用の調整や、高齢者の権利を護る権利擁護事業などを実施した。	B	地域の身近な相談窓口として、総合相談業務、権利擁護、包括的・継続的ケアマネジメント業務の充実を図る。	継続		
					延べ相談件数	11,779件	11,970件	-			
II-1-(2)	地域包括ケア推進拠点の機能強化	4	権利擁護業務の実施	95	高齢者支援課 各関係機関や専門機関と連携し、高齢者虐待について、予防啓発活動・早期発見のネットワークづくり・支援者研修会の開催・個別ケース会議による対応策や養護者支援・緊急分離体制整備等の取り組み、また、成年後見制度の活用や消費者被害防止への支援を行っている。	【取り組み内容と進捗状況】 各関係機関や専門機関と連携し、高齢者虐待について、予防啓発活動・早期発見のネットワークづくり・支援者研修会の開催・個別ケース会議による対応策や養護者支援の取り組みを行っている。また、成年後見制度の活用や消費者被害防止への支援を行っている。	B	各関係機関や専門機関と連携し、高齢者虐待について、予防啓発活動・早期発見のネットワークづくり・支援者研修会の開催・個別ケース会議による対応策や養護者支援の取り組みを行う。また、成年後見制度の活用や消費者被害防止への支援を行っていく。	継続		
					権利擁護延べ相談件数	562件	639件	-			
II-1-(2)	地域包括ケア推進拠点の機能強化	5	包括的・継続的ケアマネジメント業務の実施	95	高齢者支援課 一般高齢者から要支援・要介護認定者の各々のレベルに応じた各種サービスを提供するとともに、個々のケアマネージャー等に対する個別相談、助言・サポートを行っている。また、市内関係者・関係機関との連携・協力体制づくりを行っている。	【取り組み内容と進捗状況】 地域包括支援センターにより、介護認定者へのサービスの提供を行うとともに、地域のケアマネージャーに対する相談や助言を行い、連携体制の強化を行っている。	B	引き続き、サービス提供を行い、ケアマネージャー等介護従事者と地域での連携強化を図っていく。	継続		
						-	-	-			
II-1-(2)	地域包括ケア推進拠点の機能強化	6	基幹型地域包括支援センターの設置	95	高齢者支援課 高齢者支援の対応向上のため、各地域包括支援センターの後方支援機関として設置している。認知症の総合的な支援、センター間の連絡調整等情報や課題の統合支援、関係機関とのネットワークの構築を行っている。	【取り組み内容と進捗状況】 高齢者支援の対応向上のため、各地域包括支援センターの後方支援機関として設置している。認知症の総合的な支援、センター間の連絡調整等情報や課題の統合支援、関係機関とのネットワークの構築を行っている。	B	引き続き各地域包括支援センターの後方支援機関として、認知症の総合的な支援、センター間の連絡調整等情報や課題の統合支援、関係機関とのネットワークの構築を行う。	継続		
						-	-	-			

施策項目	具体的施策	計画書掲載ページ	担当課	取り組み内容 (9期計画記載内容)	令和6年度				令和7~8年度の展開について			
					【取り組み内容と進捗状況】 ●令和6年度の取り組みを中心に進捗状況を記入してください。また、可能な限り具体的な実績(実施回数や人数、割合等)について、下記「実績」・「目標値」・「実績値」欄に追加・修正して記入してください。 ●また、取組状況に基づき、右記の進捗評価についてA~Dから選択してください。				進捗評価	今後の展開方向 令和6年度の取り組みと評価から、今後重点的に取り組む必要がある内容等を中心に記入してください。	今後の方向性	
					※太枠囲みは成果指標 「実績」	8期計画 R5年度 実績値	9期計画 R6年度 「実績値」	9期計画 「目標値」				
II-1-(2)	地域包括ケア推進拠点の機能強化	7	高齢者・介護審議会の運営	95	高齢者支援課 高齢者・介護審議会にて地域包括支援センター運営について協議し、地域包括支援センターの適正な運営に努めている。		-	-	-	B	引き続き、高齢者・介護審議会を通して地域包括支援センター運営の適正な運営に努めていく。	継続
II-1-(3)	在宅医療・介護の連携強化	1	地域の医療・介護の資源の把握	96	高齢者支援課 医療・介護の社会資源について収集した情報や研修会等の情報を集約し、関係者で共有できる体制整備を行っている。		-	-	-	B	三田市在宅医療介護連携推進会議にて、在宅医療・介護連携体制の構築に向け情報や課題の共有を行うとともに、三田市在宅医療介護連携支援センターのホームページを整備し社会資源情報の集約・共有化を行っている。	継続
II-1-(3)	在宅医療・介護の連携強化	2	在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	96	高齢者支援課 三田市在宅医療介護連携推進会議において、医療・介護の関係団体等の参画により連携上の課題の抽出や取り組みの検討・推進を行っている。		-	-	-	B	三田市在宅医療介護連携推進会議において、医療・介護の関係団体等の参画により連携上の課題の抽出や取り組みの検討・推進を行う。	継続
II-1-(3)	在宅医療・介護の連携強化	3	切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進	97	高齢者支援課 医療・介護の関係者で協議し、入退院調整ルールや連絡様式を定め運用し、検証や改善を行っている。					B	医療・介護の関係者で協議し、入退院調整ルールや連絡様式を定め運用し、活用率を維持するために検証や改善、周知を行う。	継続
II-1-(3)	在宅医療・介護の連携強化	4	医療・介護関係者の情報共有の支援	97	高齢者支援課 医療・介護の関係機関が活用する多職種連携情報共有システムの運用を支援している。					B	引き続き、情報共有部会にて、多職種連携における情報共有の方法及び促進に取り組む。	継続
						入院時情報提供シートを活用するケアマネジャーの割合	92.6%	76.0%	80.0%			

施策項目	具体的施策	計画書掲載ページ	担当課	取り組み内容 (9期計画記載内容)	令和6年度				令和7～8年度の展開について			
					【取り組み内容と進捗状況】 ●令和6年度の取り組みを中心に進捗状況を記入してください。また、可能な限り具体的な実績（実施回数や人数、割合等）について、下記「実績」・「目標値」・「実績値」欄に追加・修正して記入してください。 ●また、取組状況に基づき、右記の進捗評価についてA～Dから選択してください。				進捗評価	今後の展開方向 令和6年度の取り組みと評価から、今後重点的に取り組む必要がある内容等を中心に記入してください。	今後の方向性	
					※太枠囲みは成果指標 「実績」	8期計画 R5年度 実績値	9期計画 R6年度 「実績値」	9期計画 「目標値」				
Ⅱ-1-(3)	在宅医療・介護の連携強化	5	在宅医療・介護連携に関する相談支援	97	高齢者支援課 三田市在宅医療・介護連携支援センターを設置し、医療・介護関係者の連携に関する相談について助言・援助を行っている。		-	-	-	B	継続して、三田市在宅医療・介護連携支援センターにて、連携に関する相談・助言・援助を行う。	継続
Ⅱ-1-(3)	在宅医療・介護の連携強化	6	医療・介護関係者の研修	97	高齢者支援課 市内病院連絡会や医療と介護関係者の研修会や交流会を行っている。		-	-	-	A	医療・介護関係者向けに3市（三田市・神戸市北区・西宮市北部地域）合同研修会を4回開催し、グループワーク等により交流を深めている。	継続
Ⅱ-1-(3)	在宅医療・介護の連携強化	7	地域住民への普及啓発	97	高齢者支援課 地域包括支援センターと連携した市民講座の開催や、チラシを作成しかかりつけ医・かかりつけ歯科医・かかりつけ薬局の普及啓発を行っている。		-	-	-	B	かかりつけ医等についての普及啓発を継続して取り組んでいく。	継続
Ⅱ-1-(3)	在宅医療・介護の連携強化	8	在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携	97	高齢者支援課 近隣市町の在宅医療・介護連携支援拠点との積極的な情報交換、連携を行っている。		-	-	-	A	近隣市町のコーディネーターと連携し、研修会を継続的に開催し、情報交換を行うことで円滑な連携を目指していく。	継続

施策項目	具体的施策	計画書掲載ページ	担当課	取り組み内容 (9期計画記載内容)	令和6年度				令和7～8年度の展開について			
					【取り組み内容と進捗状況】 ●令和6年度の取り組みを中心に進捗状況を記入してください。また、可能な限り具体的な実績（実施回数や人数、割合等）について、下記「実績」・「目標値」・「実績値」欄に追加・修正して記入してください。 ●また、取組状況に基づき、右記の進捗評価についてA～Dから選択してください。				進捗評価	今後の展開方向 令和6年度の取り組みと評価から、今後重点的に取り組む必要がある内容等を中心に記入してください。	今後の方向性	
					※太枠囲みは成果指標 「実績」	8期計画 R5年度 実績値	9期計画 R6年度 「実績値」	9期計画 「目標値」				
(施策の方向) 2. 高齢者の在宅生活を支援します △重点△												
II-2-(1)	介護者への支援	1	介護者の相談体制・情報提供の充実	98	高齢者支援課 地域包括支援センターが中心となり、介護者本人や関係機関・団体からの相談や情報等によって、支援が必要な介護者を把握し、訪問等による状況把握に基づき、介護に関する助言や情報提供、各種サービスへの連絡・調整を行っている。					B	介護に関する相談やサービス利用への支援に加え、介護休業制度や休業中の経済的支援に関する情報提供や相談を充実することで、仕事と介護の両立を支援する。	継続
II-2-(1)	介護者への支援	2	家族介護者の健康支援・介護負担軽減	98	高齢者支援課 家族介護者の支援事業として、介護に関する研修会や交流会を実施している。					B	家族介護者の介護負担やストレスの軽減のため、介護者の交流会の開催により悩みの共有や情報交換を行うとともに、介護に関する講習会を開催して支援を行う。	継続
					家族介護者支援研修及び交流会参加人数	51人	48人	150人				
II-2-(1)	介護者への支援	3	家族介護用品支給事業の推進	98	高齢者支援課 寝たきりや認知症により常時おむつを必要とする要介護4・5の高齢者を在宅で介護している市民税非課税世帯に対し、年間75,000円を限度に紙おむつ等の家族介護用品を現物支給している。					B	引き続き、在宅介護を行う世帯について、支援を行う。	継続
					実利用者数	23人	27人	-				
II-2-(2)	日常生活への支援	1	緊急通報システム機器設置事業の実施	98	高齢者支援課 日常生活で常時注意が必要な65歳以上の1人暮らし高齢者及び重度身体障害者のみの世帯等に対し、地域包括支援センターと情報共有しながら、緊急通報機器を設置事業を行った。					B	引き続き、1人暮らし高齢者及び重度身体障害者のみの世帯等に対し、緊急通報機器を設置支援を行う。	継続
					設置台数	28台	32台	-				
II-2-(2)	日常生活への支援	2	生活援助員派遣事業の実施	98	高齢者支援課 入居者が自立して安全かつ快適な生活を営むことができるよう（高齢者住宅等安心確保事業）、生活援助員を派遣し、安否確認や生活相談、必要な助言・支援を行っている。					B	引き続き、高齢者住宅等安心確保事業として生活援助員を派遣し、安否確認や生活相談、必要な助言・支援を行う。	継続
					相談件数	1,125件	1,035件	-				

施策項目	具体的施策	計画書掲載ページ	担当課	取り組み内容 (9期計画記載内容)	令和6年度				令和7～8年度の展開について		
					【取り組み内容と進捗状況】 ●令和6年度の取り組みを中心に進捗状況を記入してください。また、可能な限り具体的な実績（実施回数や人数、割合等）について、下記「実績」・「目標値」・「実績値」欄に追加・修正して記入してください。 ●また、取組状況に基づき、右記の進捗評価についてA～Dから選択してください。				進捗評価	今後の展開方向 令和6年度の取り組みと評価から、今後重点的に取り組む必要がある内容等を中心に記入してください。	今後の方向性
					※太枠囲みは成果指標 「実績」	8期計画 R5年度 実績値	9期計画 R6年度 「実績値」	9期計画 「目標値」			
II-2-(2)	日常生活への支援	3	住宅改造の支援	99	高齢者支援課 住み慣れた住宅で継続して生活が送れるよう、住宅改造が必要な方(所得制限あり)に対して、住宅改造費の一部を助成している。	【取り組み内容と進捗状況】 住み慣れた住宅で継続して生活が送れるよう、地域包括支援センターが確認を行い、住宅改造が必要な方に対して、住宅改造費の一部を助成を行った。	B	引き続き、住み慣れた住宅で継続して生活が送れるよう、必要な方へ住宅改造費の一部を助成を行う。	継続		
					利用件数	23件	27件	-			
II-2-(2)	日常生活への支援	4	食の自立支援事業の実施	99	高齢者支援課 身体上または精神上的の障害があつて、食事の調理が困難な高齢世帯等に定期的に夕食を提供するとともに安否確認を行っている。また、食生活について可能な限り自立した生活を送れるよう地域包括支援センターが支援している。	【取り組み内容と進捗状況】 食の自立サービスとして、必要な世帯に対し地域包括支援センターと情報共有を行いながら、1日1食の安否確認と配食サービスの支援を行っている。	B	引き続き、食の自立サービスとして、必要な世帯に対し、職の自立サービス事業を行っていく。	継続		
					延べ利用人数	24人	37人	-			
II-2-(2)	日常生活への支援	5	福祉有償運送事業の実施	99	高齢者支援課 道路運送法に基づき、市内の団体が許可・登録団体として事業を実施している。	【取り組み内容と進捗状況】 道路運送法に基づき市内の許可・登録団体として事業を実施し、登録事務の取りまとめを行っている。	B	引き続き、道路運送法に基づき市内の許可・登録団体として事業を実施する。	継続		
					-	4事業所	3事業所	-			
II-2-(2)	日常生活への支援	6	地域福祉支援員兼生活支援コーディネーターの配置	99	高齢者支援課 市内6圏域に各1名の地域福祉支援員兼生活支援コーディネーターを配置し、生活支援に関する地域資源の情報収集、活動の育成・継続支援を行うと共に、各地域包括支援センターによる個別支援会議や地域の会議・行事等に参加し、ニーズ把握とネットワーク構築を進めている。	【取り組み内容と進捗状況】 市内6圏域に各1名の生活支援コーディネーターを配置し、地域包括支援センターと連携し、個別支援会議や地域の会議・行事等に参加し、地域のニーズ把握とネットワーク構築を進めた。	B	引き続き、市内6圏域に各1名の生活支援コーディネーターを配置し、地域包括支援センターと連携を強め、地域のニーズ把握とネットワーク構築を進めていく。	継続		
					-	-	-	-			
II-2-(3)	介護予防・日常生活支援総合事業の充実	1	介護予防・生活支援サービスの実施	99	高齢者支援課 要支援1・2及び基本チェックリスト該当者を対象に、訪問型サービス（指定介護予防訪問介護相当、サービスB）、通所型サービス（指定介護予防通所介護相当、サービスB）を実施している。	【取り組み内容と進捗状況】 要支援1・2及び基本チェックリスト該当者を対象に、訪問型サービス（指定介護予防訪問介護相当、サービスB）、通所型サービス（指定介護予防通所介護相当、サービスB）を実施した。	B	引き続き、要支援1・2及び基本チェックリスト該当者を対象に、訪問型サービス（指定介護予防訪問介護相当、サービス・活動A【R6から名称変更】）、通所型サービス（指定介護予防通所介護相当、サービス・活動A【R6から名称変更】）を実施していく。	継続		
					①通所型事業所 ②訪問型事業所	①5カ所 ②2カ所	①5カ所 ②2カ所	①- ②-			

施策項目	具体的施策	計画書掲載ページ	担当課	取り組み内容 (9期計画記載内容)	令和6年度				令和7～8年度の展開について		
					【取り組み内容と進捗状況】 ●令和6年度の取り組みを中心に進捗状況を記入してください。また、可能な限り具体的な実績（実施回数や人数、割合等）について、下記「実績」・「目標値」・「実績値」欄に追加・修正して記入してください。 ●また、取組状況に基づき、右記の進捗評価についてA～Dから選択してください。				進捗評価	今後の展開方向 令和6年度の取り組みと評価から、今後重点的に取り組む必要がある内容等を中心に記入してください。	今後の方向性
					※太枠囲みは成果指標 「実績」	8期計画 R5年度 実績値	9期計画 R6年度 「実績値」	9期計画 「目標値」			
II-2-(3)	介護予防・日常生活支援総合事業の充実	2	訪問型サービスB（生活支援型）の支援	99	高齢者支援課	地域住民主体のNPO法人等が事業を行う介護予防・日常生活支援総合事業の訪問型サービスBの担い手を支援し、事業の拡充を推進している。	【取り組み内容と進捗状況】 地域住民主体のNPO法人等が事業を行う介護予防・日常生活支援総合事業の訪問型サービスBについて、地域包括支援センターと連携しNPO法人等の担い手の支援を行った。	B	引き続き、総合事業の訪問型サービス・活動Aについて、地域包括支援センターと連携しNPO法人等の担い手の支援を行っていく。	継続	
						①実人数 ②延べ利用人数	①91人 ②325人	①108人 ②352人	-		
II-2-(3)	介護予防・日常生活支援総合事業の充実	3	総合事業によるサービスの普及促進	99	高齢者支援課	関係機関や住民団体等と総合事業の目的や趣旨を共有し、多様な主体による総合事業の普及・充実化について検討を行っている。	【取り組み内容と進捗状況】 総合事業における訪問型および通所型サービスBについて、関係機関や住民団体等と総合事業の目的や趣旨を共有するため、現行の事業所へのヒアリングを行い、総合事業の実施についての支援方法や地域包括支援センターとの連会について検討を行った。	B	総合事業における訪問型および通所型サービス・活動Aについて、事業実施主体のNPO法人や地域包括支援センターおよび生活支援コーディネーターと連携し、総合事業の普及・充実化について検討を行う。	継続	
						-	-	-	-		

施策項目	具体的施策	計画書掲載ページ	担当課	取り組み内容 (9期計画記載内容)	令和6年度				令和7~8年度の展開について				
					【取り組み内容と進捗状況】 ●令和6年度の取り組みを中心に進捗状況を記入してください。また、可能な限り具体的な実績(実施回数や人数、割合等)について、下記「実績」・「目標値」・「実績値」欄に追加・修正して記入してください。 ●また、取組状況に基づき、右記の進捗評価についてA~Dから選択してください。				進捗評価	今後の展開方向 令和6年度の取り組みと評価から、今後重点的に取り組む必要がある内容等を中心に記入してください。	今後の方向性		
					※太枠囲みは成果指標「実績」	8期計画 R5年度 実績値	9期計画 R6年度 「実績値」	9期計画 「目標値」					
(施策の方向) 3. 介護サービスを充実します △重点△													
II-3-(1)	介護サービスの整備	1	介護保険サービスの整備	100	介護保険課 居宅サービス、施設サービス、地域密着型サービスについて、ニーズ等を把握し、必要に応じて整備を行っている。	【取り組み内容と進捗状況】 第9期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に基づき、定期巡回・随時対応型訪問介護看護の公募を実施したが、応募はなかった。 令和7年度からの認知症対応型共同生活介護及び看護小規模多機能型居宅介護の公募に向けた募集要項の作成を行った。	①特別養護老人ホーム(定員465) ②認知症対応型共同生活介護(定員126) ③認知症対応型通所介護(定員27) ④定期巡回・随時対応型訪問介護看護(定員50)	①465 ②126 ③27 ④30	①465 ②126 ③27 ④30	①465 ②144 ③33 ④50	B	定期巡回・随時対応型訪問介護看護については、資格要件の緩和を行い、周知対象事業所を増やすなどして、引き続き公募を行う。 令和7年度からは、新規で認知症対応型共同生活介護事業所(定員9名×2ユニット)、共用型認知症対応型通所介護(定員3名×2ユニット)、看護小規模多機能型居宅介護(定員29名)を整備する。	継続
II-3-(2)	サービスの質の確保・向上	1	事業者の指導・整備	102	介護保険課 ・介護保険サービス事業者に対する指導・監査については、県と市が連携して実施している。 ・居宅介護支援事業、地域密着型サービスについては、集団指導を実施し、法令遵守の徹底、運営指導等を行っている。 ・地域密着型サービス事業者が設置し、概ね2~6か月に1回開催する運営推進会議に出席し、事業所運営に関する指導・助言、情報提供を行っている。	【取り組み内容と進捗状況】 市指定事業者に対する運営指導を「全17事業所18サービス」に対して行い、課題のある事業所については監査を実施した。 集団指導については集合形式で実施した。 運営推進会議に出席し、市事業に関する情報提供及び事業所への助言を行った。	①運営指導 (1)県合同(2)市単 ②集団指導 ③運営推進会議出席数	①(1)7回(2)14回 ②実施 ③16事業所	①(1)4回(2)17回 ②実施 ③17事業所	-	B	市指定事業所への運営指導は、国通知による3年もしくは6年に1回の実施について留意しながら、年度中に10~15事業所に対して実施していく。 運営推進会議は、引き続き対象事業所開催分への出席を行うとともに、市が出席していない事業所に対しては、開催記録の提出による確認を行っていく。 集団指導については、集合形式での開催を基本としつつ、状況によって動画配信等の手法で開催していく。	継続
II-3-(2)	サービスの質の確保・向上	2	事業者情報公表制度・第三者評価の周知	102	介護保険課 ・高齢者福祉のガイドブックやホームページに掲載し周知を図っている。 ・地域密着型サービスの運営推進会議を活用した評価について、市ホームページで公表している。	【取り組み内容と進捗状況】 事業所における第三者評価については、県指定の外部評価機関による評価もしくは地域密着型サービス運営推進会議での評価を実施しており、その結果について市ホームページにて公表している。	-	-	-	-	B	各事業所において、外部機関による評価もしくは運営推進会議による評価のどちらを選択して受審しているか正確に把握し、適切に対応していく。	継続
II-3-(2)	サービスの質の確保・向上	3	ケアマネジャーの資質の向上	102	介護保険課・高齢者支援課 ・ケアマネジャー協会と連携して研修を開催し、ケアマネジャーの資質向上を図っている。 ・地域包括ケアに関する研修会を開催し、関係者(保健・医療・福祉職)のスキルアップを図るとともに関係連携強化に努めている。	【取り組み内容と進捗状況】 地域包括ケアに関する研修会を開催し、関係者(保健・医療・福祉職)のスキルアップを図るとともに関係連携強化に努めた。	介護支援専門員等研修 (回数/受講人数)	11回/95人	11回/122人	-	B	地域包括ケアに関する研修会を開催し、関係者(保健・医療・福祉職)のスキルアップを図るとともに関係連携強化に引き続き努める。	継続
II-3-(2)	サービスの質の確保・向上	4	介護サービス相談員等苦情処理体制	102	介護保険課 介護保険施設やグループホーム、小規模多機能型居宅介護事業所に介護サービス相談員が定期的(毎月各事業所1回)に訪問し、入居者の意見や事業所の取り組みを伺うことで、入居者と事業所との橋渡し役となり、利用者が安心して利用できるよう、介護サービスの質の向上を図っている。令和5年度に「三田市介護サービス相談員派遣事業実施要綱」の一部改正を行い、有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅等を訪問できるようにしている。	【取り組み内容と進捗状況】 介護サービス相談員が定期的(2カ月に1回)に各事業所を訪問。入居者及び事業所の話や相談内容を記録し報告書にまとめ、事業所の問題の所在を提示。サービスの改善の取り組みが行われるところまで継続して確認を行っている。また、現任研修を積極的に受講し、活動のスキルアップを図っている。 コロナ禍で訪問不可となった事業所へ再訪問依頼をするも、R6年度は11箇所に限られる。派遣施設を増やすことが課題。	介護サービス相談員の派遣 事業所数	10箇所	11箇所	17箇所	B	引き続き、コロナ禍で訪問不可となった事業所に訪問依頼をし派遣事業所を増やしていく(R7年度当初12箇所)。また、介護サービス相談員の活動を事業所はもとより、利用者にも知っていただくため、ポスターやチラシなどツールを活用して周知に努める。	継続

施策項目	具体的施策	計画書掲載ページ	担当課	取り組み内容 (9期計画記載内容)	令和6年度				令和7～8年度の展開について				
					【取り組み内容と進捗状況】 ●令和6年度の取り組みを中心に進捗状況を記入してください。また、可能な限り具体的な実績（実施回数や人数、割合等）について、下記「実績」・「目標値」・「実績値」欄に追加・修正して記入してください。 ●また、取組状況に基づき、右記の進捗評価についてA～Dから選択してください。				進捗評価	今後の展開方向 令和6年度の取り組みと評価から、今後重点的に取り組む必要がある内容等を中心に記入してください。	今後の方向性		
					※太枠囲みは成果指標 「実績」	8期計画 R5年度 実績値	9期計画 R6年度 「実績値」	9期計画 「目標値」					
Ⅱ-3-(2)	サービスの質の確保・向上	5	介護給付の適正化	102	介護保険課 ・【要介護認定の適正化】認定調査の民間委託分の全件確認と指導等の実施による認定調査の適正化、【ケアプラン点検】住宅改修について不適切な給付等を防止するための実地確認の実施、【縦覧点検・医療情報との突合】国民健康保険団体連合会から提供される各種情報を活用した適正な加算報酬がされているかの確認による給付の適正化に取り組んでいる。 ・介護保険サービス利用者に対して、年1回「介護給付費のお知らせ」を送付し、介護保険事業への理解の促進及び不適切な介護報酬請求の防止を図っている。	【取り組み内容と進捗状況】 市職員による要介護認定調査については、調査項目ごとに結果にばらつきが出ないよう統一化を図る取り組みを進めている。また、民間事業者へ委託した分の認定調査については、内容を全件確認している。 住宅改修は令和2年度からのコロナ禍もあり、実地確認は実施していない。 国保連合会からの各種情報活用は取り組みができていない。（縦覧点検は国保連合会にて実施）	-	-	-	-	B	引き続き、新規申請、区分変更申請、状態変化の著しい場合の更新申請の認定調査等については、市職員による調査を実施。認定調査結果の平準化のため、委託先の居宅介護支援事業所の介護支援専門員に対しての研修や情報提供を実施する。	継続
Ⅱ-3-(3)	介護人材の確保・育成	1	介護人材確保のための情報発信	103	介護保険課 介護職のスキルアップ、キャリアアップを目的として、介護職員初任者研修・実務者研修受講に対する費用補助や、人材確保、魅力アップのための取り組みに対する経費の補助を実施。 市ホームページ等で、厚生労働省、兵庫県福祉人材センター、ひょうごケア・アシスタント事業の情報周知・広報を行っている。	【取り組み内容と進捗状況】 介護人材の確保・資質向上を目的として、介護職員初任者研修・実務者研修受講に対する費用補助やイベント実施に対する経費の補助を新たに実施しているが、R6からはケアマネジャーの資格更新時の費用の一部補助を実施している。 また、介護人材確保にかかる情報発信として、兵庫県福祉人材センターや外国人介護職員の受入等に関する情報の市ホームページの掲載、事業者への周知を行っている。	-	-	-	-	B	介護人材不足の解消・資質向上のための情報発信については、従前からのホームページや事業所への周知にとどまらず、より広く市民に向けて周知できるための手法を検討していく。	拡充
Ⅱ-3-(3)	介護人材の確保・育成	2	三田市訪問看護師・訪問介護員安全確保・離職防止対策事業の実施	103	介護保険課 訪問看護師・訪問介護員の訪問サービス提供時の安全確保を図るため、利用者やその家族等からの暴力行為等で2人以上の訪問が必要なケースにおいて、利用者及び家族等の同意が得られず、介護報酬上の2人訪問加算が算定できない場合に加算相当額の一部を補助する制度を設けている。また、ハラスメント対策の取り組みとして安全対策を行った場合の費用の一部を補助する制度を設けている。	【取り組み内容と進捗状況】 令和2年度から当該事業を整備し市内訪問系サービス事業所に周知、令和3年度には県に合わせてハラスメント対策の取り組みに対する費用補助に関して拡充を図ったが、現在に至るまで事業実施はない。 事業所への周知・浸透に課題がある。	-	-	-	-	C	高齢者人口の増加に対して、安定的に介護サービスを提供するためには介護職員の離職防止・職場定着は必須であることから、職員確保の取り組みは継続する必要がある。	継続
Ⅱ-3-(4)	防災・感染症対策の推進	1	防災や感染症対策のための情報発信	104	介護保険課 防災や感染症対策に関する情報を市ホームページや電子メールで事業所等へ発信、周知啓発している。	【取り組み内容と進捗状況】 国や県から自然災害や感染症に関する情報提供があれば、随時市ホームページや電子メールを通じて、事業者へ情報提供を行った。また、令和6年4月から策定が義務化された業務継続計画については、運営指導や集団指導の際に策定状況の確認を行い、防災・減災活動の啓発を図った。	-	-	-	-	B	業務継続計画等の策定状況や避難訓練などの実施状況を随時確認し、介護サービス事業所と連携して、防災・減災活動の啓発を行っていく。	継続
Ⅱ-3-(4)	防災・感染症対策の推進	2	介護サービス継続のための支援	104	介護保険課 介護保険サービス事業所への衛生用品等の支給や応援給付金等の市独自補助事業、国・県と連携した補助事業等を実施している。	【取り組み内容と進捗状況】 令和6年度は補助事業の実施はなかった。	-	-	-	-	D	災害発生時や感染症流行時には、国や県と連携しながら必要な支援ができる体制が必要である。	継続

施策項目	具体的施策	計画書掲載ページ	担当課	取り組み内容 (9期計画記載内容)	令和6年度				令和7～8年度の展開について				
					【取り組み内容と進捗状況】 ●令和6年度の取り組みを中心に進捗状況を記入してください。また、可能な限り具体的な実績（実施回数や人数、割合等）について、下記「実績」・「目標値」・「実績値」欄に追加・修正して記入してください。 ●また、取組状況に基づき、右記の進捗評価についてA～Dから選択してください。				進捗評価	今後の展開方向 令和6年度の取り組みと評価から、今後重点的に取り組む必要がある内容等を中心に記入してください。	今後の方向性		
					※太枠囲みは成果指標 「実績」	8期計画 R5年度 実績値	9期計画 R6年度 「実績値」	9期計画 「目標値」					
（施策の方向） 4. 認知症高齢者への支援を充実します【認知症施策推進計画】 △重点△													
Ⅱ-4-(1)	認知症の知識の普及啓発と支援体制づくり	1	認知症サポーター養成事業の実施	105	高齢者支援課 認知症について正しい理解と知識を持ち、認知症の人に対し適切に対応できるよう、市民を対象としたサポーター養成講座を開催。また、サポーターの活動充実化につながるようスキルアップ講座を行っている。	【取り組み内容と進捗状況】 認知症への理解と知識の普及のため、市民を対象としたサポーター養成講座を開催し、さらに興味がある方へのサポーターの活動充実化に繋がるように、スキルアップ講座を開催している。	認知症サポーター数	13,339人	14,147人	14,000人	A	引き続き、市民を対象としたサポーター養成講座およびスキルアップ講座を開催し、認知症の理解と知識の普及に努める。	継続
Ⅱ-4-(1)	認知症の知識の普及啓発と支援体制づくり	2	認知症予防講座の実施	105	高齢者支援課 認知症予防の啓発のため、介護予防普及啓発事業のプログラムとして、小地域のつどいや老人クラブを対象に認知症予防に関する講座を行っている。	【取り組み内容と進捗状況】 認知症予防の啓発のため、介護予防普及啓発事業のプログラムとして、小地域のつどいや老人クラブを対象に認知症予防に関する講座を行った。	-	-	-	-	B	引き続き、介護予防普及啓発事業のプログラムとして、小地域のつどいや老人クラブを対象に、認知症予防に関する講座を実施し、認知症予防の啓発を行う。	継続
Ⅱ-4-(1)	認知症の知識の普及啓発と支援体制づくり	3	認知症地域ネットワーク構築の支援	105	高齢者支援課 認知症の人とその家族を含めた地域住民等を中心とした認知症カフェなどの地域での取り組みを支援し、認知症サポーター等身近な支援者と認知症の人とその家族の支援をつなぐため枠組み（チームオレンジ等）の構築を行っている。	【取り組み内容と進捗状況】 各地区の地域包括支援センターでは認知症カフェなどの地域での取り組みを支援し、認知症サポーター等身近な支援者と認知症の人とその家族の支援をつなぐため枠組み（チームオレンジ等）の実施について検討を行った。	-	-	-	-	A	引き続き、認知症カフェの取組を支援し、認知症サポーター等身近な支援者と認知症の人とその家族の支援をつなぐため枠組み（チームオレンジ等）の実施については、令和7年度に本格実施を行う。	継続
Ⅱ-4-(1)	認知症の知識の普及啓発と支援体制づくり	4	認知症高齢者家族支援事業の推進	105	高齢者支援課 認知症等で行方不明になるおそれのある高齢者の家族に対して、小型のGPS端末を貸与し行方不明発生時の早期発見と事故防止を図っている。	【取り組み内容と進捗状況】 対象者について、GPS対応の小型発信器から電波により位置を検索し、居場所を家族に知らせるシステム機器を無償で貸与を行った。	年度末貸与人数	75人	73人	-	B	引き続き、小型のGPS端末を貸与し行方不明発生時の早期発見と事故防止を図っていく。	継続
Ⅱ-4-(1)	認知症の知識の普及啓発と支援体制づくり	5	高齢者等SOSネットワーク事業	105	高齢者支援課 行方不明となる可能性がある人の情報を事前に登録し、三田市、市内の地域包括支援センター、三田警察署で共有し、メール配信システムや防災行政無線放送により行方不明時の速やかな検索につなげている。	【取り組み内容と進捗状況】 対象者について、事前に登録を行い、三田市、市内の地域包括支援センター・三田警察署で共有し、メール配信システムや防災行政無線放送により行方不明時の速やかな検索につなげる。	SOSネットワークのメール受信登録者数	36人	55人	-	B	引き続き、対象者について、事前に登録を行い、三田市、市内の地域包括支援センター・三田警察署で共有し、行方不明時の速やかな検索につなげる。	継続

施策項目	具体的施策	計画書掲載ページ	担当課	取り組み内容 (9期計画記載内容)	令和6年度				令和7～8年度の展開について		
					【取り組み内容と進捗状況】 ●令和6年度の取り組みを中心に進捗状況を記入してください。また、可能な限り具体的な実績（実施回数や人数、割合等）について、下記「実績」・「目標値」・「実績値」欄に追加・修正して記入してください。 ●また、取組状況に基づき、右記の進捗評価についてA～Dから選択してください。				進捗評価	今後の展開方向 令和6年度の取り組みと評価から、今後重点的に取り組む必要がある内容等を中心に記入してください。	今後の方向性
					※太枠囲みは成果指標 「実績」	8期計画 R5年度 実績値	9期計画 R6年度 「実績値」	9期計画 「目標値」			
II-4-(1)	認知症の知識の普及啓発と支援体制づくり	6	認知症高齢者個人賠償責任保険事業	105	高齢者支援課	認知症の人が日常生活で他人にけがをさせたり、他人の物を壊したことによって、本人やご家族が法律上の損害賠償責任を負った場合に、これを補償するための保険制度を実施している。	【取り組み内容と進捗状況】 対象者について、認知症の人が日常生活で他人にけがをさせたり、他人の物を壊したことによって、本人やご家族が法律上の損害賠償責任を負った場合に、これを補償するための保険制度を実施した。	B	引き続き、対象者へ損害賠償責任保険事業を実施し、認知症の人や家族の支援を行う。	継続	
						年度末加入者数	115人	109人	-		
II-4-(2)	早期発見・早期対応の促進	1	認知症疾患医療センターとの連携	107	高齢者支援課	「認知症ガイドブック」を活用し、早期発見・早期対応の重要性を啓発するとともに、認知症疾患医療センターと連携を図りつつ専門医による「もの忘れ相談」を実施して、必要に応じて関係機関につなぐなど支援を行い早期対応に努めている。	【取り組み内容と進捗状況】 「認知症ガイドブック」等を活用し身近な相談の機会として認知症疾患医療センターの専門医による「もの忘れ相談」を月2回実施した。また、必要な方については、専門病院等と連携し、認知症への早期の対応を行った。	A	引き続き、認知症疾患医療センターと連携し、もの忘れ相談や認知症初期集中支援の充実を図り、地域の専門病院、認知症相談医、かかりつけ医との連携体制を構築することにより早期発見・早期対応に取り組むを行い、「認知症ガイドブック」の活用を進める。	継続	
						相談件数	68件	61件	-		
II-4-(2)	早期発見・早期対応の促進	2	認知症初期集中支援チームの設置	107	高齢者支援課	認知症または認知症が疑われる人で、診断を受けていない人や、治療を中断している人、医療・介護サービスを利用していない人に対して、専門職（サポート医等）による支援計画の下、適切な医療や介護を受けられるように支援を行っている。	【取り組み内容と進捗状況】 地域包括支援センターなどの相談のなかで、認知症または認知症が疑われる人で、診断を受けていない人などへ、専門職（サポート医等）による支援計画のもとに、適切な医療や介護を受けられるように認知症初期集中専門員による支援を行った。	B	引き続き、認知症または認知症が疑われる人で、診断を受けていない人などへ、専門職（サポート医等）による支援計画のもとに、適切な医療や介護を受けられるように認知症初期集中専門員による支援を行った。	継続	
						認知症初期集中支援チームが支援した年間高齢者数	14人	14人	30人		
II-4-(2)	早期発見・早期対応の促進	3	脳の健康チェック	107	高齢者支援課	タブレットやスマートフォンを使用したデジタルツールにより脳の健康チェックを実施し、早い時期から脳の健康に関心を持てるよう取り組んでいる。	【取り組み内容と進捗状況】 脳の健康チェックとしてデジタルツールを使用し、三田市総合福祉保健センターで行う拠点型と出張型で実施した。	B	デジタルツールを用いて、脳の健康に関心を持ち、今後の早期発見や早期治療及び予防へつながるような取り組みを行う。	継続	
						実施人数	188人	194人	-		
II-4-(2)	早期発見・早期対応の促進	4	認知症予防教室	107	高齢者支援課	神戸大学が開発した（1）頭と体の運動教室（2）健康づくりセミナー（3）健康状態の見える化をパッケージ化したコグニケアを実施し、正しい知識に基づいた健康行動がとれるよう支援している。	【取り組み内容と進捗状況】 認知症予防教室として希望される方を募集し、神戸大学が実施している認知症予防プログラムをオンラインで実施した。	B	引き続き、神戸大学と連携し、認知症予防教室を実施し、正しい健康行動への支援を行っていく。	継続	
						参加者数	17人	15人	-		

施策項目	具体的施策	計画書掲載ページ	担当課	取り組み内容 (9期計画記載内容)	令和6年度				進捗評価	令和7～8年度の展開について	
					※太枠囲みは成果指標 「実績」	8期計画 R5年度 実績値	9期計画 R6年度 「実績値」	9期計画 「目標値」		今後の展開方向	今後の方向性

【取り組み内容と進捗状況】
●令和6年度の取り組みを中心に進捗状況を記入してください。また、可能な限り具体的な実績（実施回数や人数、割合等）について、下記「実績」・「目標値」・「実績値」欄に追加・修正して記入してください。
●また、取組状況に基づき、右記の進捗評価についてA～Dから選択してください。

【基本目標】 Ⅲ 地域みんなで支え合い、ふれあうまちづくり

(施策の方向) 1. 地域福祉活動を支援します

Ⅲ-1-(1)	個人の取り組みや団体活動への支援	1	地域福祉支援員兼生活支援コーディネーターの配置	109	高齢者支援課	地域福祉支援員兼生活支援コーディネーターを配置し、「地域の困りごとがある人」と「地域福祉活動者」をつなぐコーディネート業務や相談・アドバイスをを行っている。	【取り組み内容と進捗状況】 市内活6カ所で生活支援コーディネーターを配置し、地域活動や困りごとについて、関係機関へとつなぐコーディネート業務や相談・アドバイスをを行った。	-	-	-	-	B	引き続き、地域にお住まいの方への、地域活動や、困りごとについて、関係機関との連携を行い、問題解決のための支援を行う。	継続
Ⅲ-1-(1)	個人の取り組みや団体活動への支援	2	ふれあい活動推進協議会の活動推進	109	地域福祉課	ふれあい活動推進協議会等の地縁団体が自主的に活動を行っており、各地区で各種行事やサロン等を開催し、ふれあいや交流の場の提供を行っている。	【取り組み内容と進捗状況】 市内8地区のふれあい活動推進協議会に対する事業補助を行っている。各地区において、「高齢者・子育てサロン」や「多世代交流事業」など住民同士がつながる場づくりに取り組むとともに、「ふれあいウォーキング」や「健康体操」など交流の場としてだけではなく参加者の健康維持にもつながるイベントを開催するなど、福祉のまちづくりに向けた地区の特色ある活動を展開している。また、高齢者参加事業や高齢者宅訪問といった高齢者の外出支援や見守り活動等にも積極的に取り組んでいる。	-	-	-	-	B	人と人とのつながりが希薄化しつつある地域社会において、地域住民が主体となりふれあいやつながりの場づくりに取り組む「ふれあい活動推進協議会」に対し、引き続き財政支援を行う。また、地域活動の担い手が減少し、一部活動者への負担集中が課題となる中で、負担感の軽減と活動の効率化を図るため、各地域の実情に基づき「まちづくり協議会」との統合に対応する。	継続
Ⅲ-1-(1)	個人の取り組みや団体活動への支援	3	ボランティア活動の推進	109	地域福祉課	社会福祉協議会のボランティア活動センターにおいてボランティアコーディネーターが、ボランティアの需要調整やボランティアグループの育成、支援を行っている。	【取り組み内容と進捗状況】 ボランティア活動を通じて、暮らしの中の生活課題や社会環境の変化に伴う課題を解決することを目的に、ボランティア活動センターの運営やボランティア活動の振興・育成等事業に対する財政的支援を行っている。ボランティア活動センターでは、福祉ボランティアの育成を目的とした養成講座の開催や、より多くの人にボランティア活動への興味・関心を持ってもらうための啓発活動等に取り組むとともに、企業の社会貢献活動の促進に向けたコーディネートや地域や学校等における学びの機会の提案・提供を行っている。	ボランティア活動センターでのボランティア活動者(従事者)数	357人	358	470人	B	ボランティア活動に関する適切な情報提供や活動を希望する人への支援を行うとともに、多様な当事者との出会いや協働による学びを目的とした「循環型福祉学習」の推進など幅広い活動に取り組むボランティア活動センターの運営に対し、引き続き財政支援していく。また、ボランティア活動の「支え手」「受け手」という関係を超えて、ともに地域福祉の増進を目指す活動者として出会う機会の創出や、多様な主体が尊重し協働しながら地域課題の解決に取り組める環境整備を進める。	継続

施策項目	具体的施策	計画書掲載ページ	担当課	取り組み内容 (9期計画記載内容)	令和6年度				令和7～8年度の展開について					
					【取り組み内容と進捗状況】 ●令和6年度の取り組みを中心に進捗状況を記入してください。また、可能な限り具体的な実績（実施回数や人数、割合等）について、下記「実績」・「目標値」・「実績値」欄に追加・修正して記入してください。 ●また、取組状況に基づき、右記の進捗評価についてA～Dから選択してください。				進捗評価	今後の展開方向 令和6年度の取り組みと評価から、今後重点的に取り組む必要がある内容等を中心に記入してください。	今後の方向性			
					※太枠囲みは成果指標 「実績」	8期計画 R5年度 実績値	9期計画 R6年度 「実績値」	9期計画 「目標値」						
(施策の方向) 2. 高齢者の人権を大切にします														
Ⅲ-2-(1)	人権意識の普及・啓発	1	高齢者の人権に関する啓発の推進	110	人権共生推進課 人権啓発誌「人権さんだ」の発行や人権を学ぶ啓発講座、三田市人権を考える会の啓発事業を通じて、高齢者の人権問題を含め、幅広く人権意識の高揚を図る。	【取り組み内容と進捗状況】 ・人権啓発誌「人権さんだ」9月号において特集「身近な認知症を考える」を掲載し、高齢者の人権についての啓発を行った。					B	高齢者の人権についての認識と理解を深めるため、人権啓発誌「人権さんだ」や市民啓発講座の開催、三田市人権を考える会における啓発事業など、幅広く啓発を行っている。	継続	
					人権問題の解決に向けて「社会全体で取り組み、自分も努力すべきだと思う」市民の割合	88.7%	83.4%	90.0%						
Ⅲ-2-(2)	権利擁護の推進	1	成年後見制度、日常生活自立支援事業（福祉サービス利用援助事業）の利用促進	111	地域福祉課 三田市権利擁護・成年後見支援センターの運営。 地域包括支援センターの総合相談業務の一環として周知・啓発を行っている。	【取り組み内容と進捗状況】 専門職団体や関係機関の協働による地域連携ネットワークのコーディネート等を担う、中核機関である三田市権利擁護・成年後見支援センターの体制整備と機能強化を図った。従来からの取り組みの継続とともに、三田市権利擁護・成年後見支援センターの地域連携ネットワークのコーディネート機能を高め、高齢者等の権利擁護と成年後見制度の利用促進を図っている。					B	三田市権利擁護・成年後見支援センターの中核機関化に向けた取り組みにおいて、専門機関等とのネットワーク構築を行い、専門職の受任調整を行う機能と二次相談機関としての機能強化を図ることとしており、引き続きセンターの機能充実と周知・啓発に努める。 また、成年後見制度の利用促進の観点で、地域において権利擁護に携わる人材の育成を進める。	継続	
					①日常生活自立支援事業認知度 ②成年後見制度の認知度	-	-	①44.7% ②57.8%						
Ⅲ-2-(2)	権利擁護の推進	2	高齢者虐待防止法に基づく虐待防止と養護者支援	111	高齢者支援課 高齢者虐待防止マニュアルに基づき、コア会議によるリスク評価を行い、個別ケース会議により対応策や支援機能の分担について共通認識し、養護者支援を含め関係機関と連携しながら必要な対応を行っている。	【取り組み内容と進捗状況】 高齢者虐待疑いについては、高齢者虐待防止マニュアルに基づき、関係機関と連携し会議、調査を行い、虐待防止と養護者支援について必要な対応を行った。					B	引き続き、高齢者虐待疑いについて、関係機関と連携し会議、調査を行い、虐待防止と養護者支援について対応を行う。	継続	
Ⅲ-2-(2)	権利擁護の推進	3	施設内虐待への取り組み	111	介護保険課 市内介護保険施設担当職員を対象とした研修を開催し、該当施設での高齢者の権利擁護や施設内虐待防止についての意識向上を図っている。	【取り組み内容と進捗状況】 市における研修は未実施。市民や介護従事者からの相談や連絡、施設等からの事故報告書等で虐待の恐れがある場合は、事業所への聞き取りや現地確認を行っている。必要に応じて、関係部署や県等の関係機関とも調整しながら対応している。 事業者は令和6年3月末までに虐待防止のための委員会の開催・指針の整備・研修の実施等整備する必要があったため、令和7年3月に開催した集団指導においても再度確認を行った。					B	研修の開催については、オンライン等の活用や国や県の実施する研修の情報提供等様々な形で実施していく。	継続	
Ⅲ-2-(2)	権利擁護の推進	4	障害者・高齢者虐待権利擁護高度専門相談	111	高齢者支援課 兵庫県虐待対応専門職チーム（事務局：兵庫県弁護士会）に登録している弁護士・社会福祉士による虐待事案に対する専門的助言を受け、事案の解決を図っている。	【取り組み内容と進捗状況】 虐待事案の対応職員の相談窓口として、兵庫県虐待対応専門職チームに登録している弁護士・社会福祉士による虐待事案に対する専門的助言を受け、支援方法の検討を行った。					B	引き続き、虐待事案に対する弁護士等の専門的助言を受け、事案の解決を図る。	継続	

施策項目		具体的施策		計画書掲載ページ	担当課	取り組み内容 (9期計画記載内容)	令和6年度				令和7～8年度の展開について			
							【取り組み内容と進捗状況】 ●令和6年度の取り組みを中心に進捗状況を記入してください。また、可能な限り具体的な実績（実施回数や人数、割合等）について、下記「実績」・「目標値」・「実績値」欄に追加・修正して記入してください。 ●また、取組状況に基づき、右記の進捗評価についてA～Dから選択してください。				進捗評価	今後の展開方向 令和6年度の取り組みと評価から、今後重点的に取り組む必要がある内容等を中心に記入してください。	今後の方向性	
							※太枠囲みは成果指標 「実績」	8期計画 R5年度 実績値	9期計画 R6年度 「実績値」	9期計画 「目標値」				
Ⅲ-2-(2)	権利擁護の推進	5	消費者被害への対応	111	高齢者支援課	地域包括支援センター、高齢者支援センターの総合相談業務の一環として消費生活センターや警察署、司法書士、弁護士等の関係機関と連携して被害防止に努めている。	【取り組み内容と進捗状況】 地域包括支援センターの総合相談業務の一環として消費生活センターや警察署などの関係機関と連携して情報の共有を行っている。地域包括支援センターにおいては、共有した情報について、各地域の自治会などで周知活動を行っている。	-	-	-	-	B	引き続き、関係機関と連携して情報の共有を行い、共有した情報について、各地域の自治会などで周知活動を行う。	継続

施策項目	具体的施策	計画書掲載ページ	担当課	取り組み内容 (9期計画記載内容)	令和6年度				進捗評価	令和7～8年度の展開について	
					※太枠囲みは成果指標 「実績」	8期計画 R5年度 実績値	9期計画 R6年度 「実績値」	9期計画 「目標値」		今後の展開方向	今後の方向性

【基本目標】 IV 安全で快適な暮らしやすいまちづくり

(施策の方向) 1. 快適な住宅・住環境の向上をめざします

IV-1-(1)	高齢者にやさしい居住環境の推進	1	公営住宅の管理	112	生活福祉課	高齢者をはじめ誰もが安心して住めるよう配慮した公営住宅の適切な維持、管理に努めている。	【取り組み内容と進捗状況】 令和6年3月に策定した第2次三田市公営住宅等長寿化計画（R6～R15）に基づき、予防保全的な観点から修繕や改善の計画を定め、長寿化による更新コストの削減と事業量の平準化を図っている。	-	-	-	B	同左	継続	
IV-1-(1)	高齢者にやさしい居住環境の推進	2	高齢者向け住宅の情報提供	112	都市デザイン課	市内の高齢者向け住宅について、ひょうご住まいづくり協議会と連携し、市民や事業者に情報を提供している。	【取り組み内容と進捗状況】 すまいの窓口での相談対応や、市HPでサービス付き高齢者向け住宅やセーフティネット住宅等の情報を提供した。	-	-	-	B	高齢者向け住宅に関する情報の提供や発信に努める。	継続	
IV-1-(2)	福祉のまちづくりの推進	1	公共施設のバリアフリー推進	113	障害福祉課	高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律（通称：バリアフリー法）及び福祉まちづくり条例に基づく整備及び点検改修、バリアフリー設備の設置状況の情報提供を行っている。	【取り組み内容と進捗状況】 福祉のまちづくり条例に基づき、ホームページに市内公共施設のバリアフリー情報や施設のプロアマップを掲載し、メンテナンスを行っている。	-	-	-	B	ホームページ掲載内容のメンテナンスを行いながら、より充実したバリアフリー情報の提供に努める。	継続	
IV-1-(2)	福祉のまちづくりの推進	2	移動手段等の維持・確保	113	交通政策課	兵庫県と協力したノンステップバスの導入目標達成及び公共交通機関に関する相談窓口、広報等での啓発を行っている。	【取り組み内容と進捗状況】 引き続きノンステップバス導入に係るバス事業者に対する補助を実施している。 (実績) ノンステップバスの導入 1台	ノンステップバスの導入率	68.1%	64.1%	70.0%	B	ノンステップバスの導入率だけに着目するのではなく、ノンステップバスを必要とされる方の多いところでノンステップバスが運行されるように事業者呼びかけを行っている。 また、車両購入時には可能な限りノンステップバスを導入するよう交通事業者に対して呼びかけを行っている。	継続
IV-1-(2)	福祉のまちづくりの推進	3	交通機関の運賃の助成	113	交通政策課	高齢者の社会参加や健康づくり、生きがいづくり等外出の機会を持ってもらうため、市内在住（住民登録がある人）で各年度4月1日現在70歳以上の人に対して、バス・鉄道・タクシー運賃の助成を行っている。	【取り組み内容と進捗状況】 高齢化の進展に伴い、高齢者の公共交通利用増加が見込まれる中、令和5年度に実施した「三田市高齢者外出支援策に関するあり方懇話会」における意見の内容等を踏まえながら、課題の解決に向けて検討を行っている。	-	-	-	C	市域の公共交通網の現状を踏まえ、課題の解決に向けて制度のあり方を含めて検討を進める。	継続	

A:十分に成果があった(目標を達成した) / B:どちらかといえば成果があった / C:成果はあまりなかった、または取組みが不十分だった / D:成果が全くなかった、または取組みなかった

施策項目	具体的施策	計画書掲載ページ	担当課	取り組み内容 (9期計画記載内容)	令和6年度				令和7～8年度の展開について				
					【取り組み内容と進捗状況】 ●令和6年度の取り組みを中心に進捗状況を記入してください。また、可能な限り具体的な実績（実施回数や人数、割合等）について、下記「実績」・「目標値」・「実績値」欄に追加・修正して記入してください。 ●また、取組状況に基づき、右記の進捗評価についてA～Dから選択してください。				進捗評価	今後の展開方向 令和6年度の取り組みと評価から、今後重点的に取り組む必要がある内容等を中心に記入してください。	今後の方向性		
					※太枠囲みは成果指標 「実績」	8期計画 R5年度 実績値	9期計画 R6年度 「実績値」	9期計画 「目標値」					
(施策の方向) 2. 安全・安心な生活環境を推進します													
IV-2-(1)	防災・防犯・感染症対策の推進	1	防災意識の高揚	114	危機管理課 危険箇所等を掲載したハザードマップの作成や出前講座・防災訓練・自主防災組織の育成等により防災意識の高揚を図っている。	【取り組み内容と進捗状況】 令和6年度は前年度に比べて全体的に実施回数が増えた。出前講座の申込も増加し、避難所運営マニュアルやHUG等を活用した訓練も実施した。 地域防災訓練は、毎年実施している地域を中心とし、継続的に防災への備えや体制整備を整え、防災意識の高揚を図った。	地域防災訓練の実施率	32.9%	44.9%	46.0%	B	今後も多くの市民に向けて、防災意識の啓発を行っていく。また、引き続き他団体との連携強化を図り、地域の安全・安心を図る。	継続
IV-2-(1)	防災・防犯・感染症対策の推進	2	避難行動要支援者支援制度の推進	114	危機管理課 避難行動要支援者支援制度における名簿の作成、更新、地域との共有等を行っている。	【取り組み内容と進捗状況】 避難行動要支援者名簿を区・自治会及び民生委員等と共有し、災害時及び平常時の見守り等地域の防災・防犯意識の高揚を図れた。 令和6年度は、前年に比べて災害危険箇所の個別避難計画の作成を行うことができ、また作成を行った方の福祉避難所への訓練を実施した。 また地域主体での個別避難計画の作成についての推進を行った。	避難行動要支援者の個別避難計画を防災と福祉の連携促進により作成した区・自治会数	12箇所	22箇所	20箇所	A	今後も、個々の要支援者の状況に応じた個別避難計画の策定や、避難訓練の実施などを進めていく。	継続
IV-2-(1)	防災・防犯・感染症対策の推進	3	防犯意識の高揚	114	危機管理課 市民一人ひとりが防犯意識を高め、犯罪や暴力、事故のない「安全で安心な住みよいまち」を推進するため、各種団体と協働し、啓発活動等を行っている。	【取り組み内容と進捗状況】 市内に暴力団等の事務所が確認されていない為、昨年に引き続き「明るいまちづくり市民のつどい」は休会しているが、暴力団等追放三田市民の会による啓発活動は実施されている。 また、防犯に関しては、警察署や県と連携し、特殊詐欺防止キャンペーンやDV被害防止キャンペーンを行った。	明るいまちづくり市民の集い	休会	休会	-	C	市民一人ひとりの防犯意識を高める。犯罪や暴力、事故のない「誰もが安心できる住み心地がよいまち」を推進する為に、各団体と連携し、啓発活動等を行う。	継続
IV-2-(2)	交通安全対策の推進	1	高齢者の交通安全に対する意識啓発	115	危機管理課 関係機関と協力し年間を通じて啓発活動及び交通安全教室を実施している。	【取り組み内容と進捗状況】 令和6年度は、市の交通指導員が警察署の交通安全担当と協力し、年間を通じて学校等を対象に交通安全教室を実施した。また、高齢者を対象とした交通安全教室については、昨年度よりも実施回数が減少している。	高齢者交通安全教室実施回数	8回	7回	8回	C	交通安全教室の実施について、学校等を対象とした取組を継続していく。また、高齢者に対しても、定期的に啓発活動を行い、幅広く広報や周知を図る。	継続
IV-2-(2)	交通安全対策の推進	2	地域の交通安全環境づくり	115	建設課 交通安全施設の設置及び道路のバリアフリーに配慮した歩道の整備を行っている。	【取り組み内容と進捗状況】 交通安全施設（ガードパイプ、車止め、カラー舗装）の設置と道路のバリアフリー（歩道根上りの修繕、スロープへの手すり設置）に配慮した歩道の整備を実施した。	①ガードパイプ等設置 ②車止め設置 ③カラー舗装（ケラレハシ設置等） ④歩道根上り修繕 ⑤手すり設置	①47m ②5基 ③308㎡ ④236㎡	①17m ②17本 ③399㎡ ④106㎡ ⑤55m	-	B	引き続き交通安全施設の設置及び道路のバリアフリーに配慮した歩道の整備を推進していく。	継続